

恋する川柳物語かわら版



其の二十九 第二十九回「恋する川柳」——【冬】恋する川

柳編——の応募作品集です。恋する気持ちを詠む川柳「恋する川柳」冬編のお題はズバリ恋愛！冬の恋の思い出を中心に、様々な「愛」や「恋」のカタチを表現していただきました。

既に2月に入ってはいますが、改めまして新年あけましておめでとございます。今年も新年早々、全国津々浦々の皆さまから(道の駅としては)大変な数の作品をお寄せいただきました。まして、本当にありがとうございます。「こいつは春から縁起が良いや!」ってことで、スタッフ一同大喜びでした。

そうそう!「大喜び」と言えば、これまた大変オドロキでオメデタイことが新年早々ありました♪道の駅では来たる5月に、ウェディングのヘアショーを開催するのですが、その企画が進んでいく段階で、出演されるモデルさんの一人が実際に結婚されることになりました!「人の縁」って本当に不思議で分からないものですね。この調子で、春の「恋する川柳」でもたくさん素敵なご縁に恵まれるのを、心より楽しみにしております。

ってなことで、ほな、今日もぼちぼち見てつかあさいな。

【応募作品一覧】

◆ ころえる手 ポッケでつなぐ 冬が好き

◆ 紅葉の 顔に似ている 恋ばなし (P・N ニヨッキ)

◆ 冬に蒔く 恋は四月に 花が咲く

◆ 雪踏んで 千里の道も 愛に恋 (P・N 春爺)

◆ いつまでも 溶けない恋の 雪だるま (P・N 共白髪)

◆ 木枯らしに 君をコートで 包み込む

(P・N プレイボーヤ)

◆ 鍋奉行 嫁が仕切れば 子がお肉

◆ 愛してる 先に言ったと 事故責任 (P・N 仁)

◆ 突然の 雪が二人の 距離縮め (P・N 琴音翼)

◆ 会えぬなら 私は冬眠 していよう

◆ 耐えられる ともに貴方は 雪割草
(P・N 竹子デラックス)

◆ 雪の駅 彼の帰省を 待つ鼓動 (P・N 土呂小町)

◆ 今日の妻 どこを何をば 褒めようか (P・N 木立慈雨)

◆ 雪合戦 あなた一筋 豪速球 (P・N 三番)

◆ 寒風に 耐えてあなたの 愛を待つ (P・N みちんこ)

◆ 直球を 君のハートへ 雪つぶて (P・N 散歩)

◆ 馴れ初めの 駅で伝える プロポーズ (P・N めいパパ)

◆ 忘れない 青白く炎のような 冬の恋

◆ 雪に残る 足跡さえも ああ愛しい (P・N りん太34)

◆ ふわふわの クッションのよな 恋が好き

◆ ポケットの 中で繋いだ 紅葉の手

◆ いいですか 年下異国 恋しても

◆ 特権じゃ 無いよ胸キュン 若者の (P・N ひらめき子)

◆ 旅立ちの 愛猫のため 牡丹焚く (P・N 三谷 白水)

◆ 二月だけ 気軽にやれない チョコレート

(P・N ぽよねこ)

◆ 恋愛は 滑ってばかり スキー場

◆ 雪の恋 結果儚く 溶けて水 (P・N ポンタロウ)

- ◆ 耳元で 小鳥が歌う 愛の詩
- ◆ 雪が降り 一つの傘に 愛生まれ (P・N おことう)
- ◆ 定年後 二人だけで デートする (P・N うずら)
- ◆ 白い息 さまよう我が手 意気地なし (P・N クイナ)
- ◆ 雪降って ポッケの中で 手をつなぐ
- ◆ 旅日記 恋の欠片を ひとつ混ぜ (P・N 白猫)
- ◆ 片思い 遠き思い出 今もなお (P・N 小林番茶)
- ◆ さむくない 尋ねる会話が あたたかい
- ◆ 黒電話 あの日の情緒 今スマホ (P・N 木之影)
- ◆ 初恋も 淡雪と消え 凍える手 (P・N さちみ)
- ◆ 降り積もる 雪我が恋に 似たりけり (P・N ピノコ)
- ◆ 告白の メールの回数 富士の山
- ◆ この思い 宇宙ロケット 運ぶはず (P・N 金次郎)
- ◆ さむい朝 君に会えにるか 冬さんぽ
- ◆ 銀世界 4つの足あと ついてゆく (P・N みな)
- ◆ 寒いけど コタツの君と 笑いあう
- ◆ 冬景色 君とすごせば 至福の日 (P・N かのん)
- ◆ 追いついて 息白さ増す 冬の朝
- ◆ 寒月の しじま破るや 猫の恋 (P・N チュン子すずめ)
- ◆ 勘違い それでもいいの 片思い (P・N めーたん)
- ◆ マグカップ 包むぬくもり 君の様 (P・N ココア)
- ◆ ときめきの 八割は当たり 老いの春
- ◆ ため息の 合間に息する 恋も有る (P・N 曲者)

- ◆ 雪の道 二人並んで 神せかい (P・N 琥珀)
- ◆ 逢いたくて でも言えなくて 息吐く夜 (P・N 夏梅)
- ◆ 弦月を ハートに変える 宵のキス
- ◆ 君としか 重なり合わぬ 二枚貝 (P・N アダムとイブ)
- ◆ 片思い 夢のなかまで せつなくて (P・N ゆう)
- ◆ 雪となり あなたのなかに とけたいな (P・N おおぬきこなき)
- ◆ 炬燵から 生まれる愛も 恋もあり
- ◆ 雪山も 熱い二人に 溶け出して (P・N 臨海和笑)
- ◆ 寄り添って 歩く小道に 胸の鼓動 (P・N P M)
- ◆ 心から 恋をしています 愛してる (P・N 康香)
- ◆ 冷えた手を あっためてくれる 手を見つけ (P・N だー)
- ◆ 寒い日も あなたがいれば あたたかい
- ◆ もがり笛 肩を寄せ合う 冬の恋 (P・N ワタミツ)
- ◆ ガード下 つなぎ合う手を 握りしめ (P・N らくちゃん)
- ◆ 油断した 今更君に 好きなんて (P・N なっつん)
- ◆ 遠距離の 君への思い つのる孫
- ◆ 女子会で 妻海外へ 人恋し (P・N よったんぼうや)
- ◆ 年取ると 愛してるより ありがとう
- ◆ 来世また 廻りあうなら 妻が良い (P・N 凡土)
- ◆ 君がいて 真っ白雪に 色が付く
- ◆ 寒いよと 甘え上手に なれる冬 (P・N いわき)

◆ 積雪を 溶かすふたりの 至近距離 (P・N 海峡ちどり)

◆ 焼き芋屋 追いかけてるは 君がため
(P・N やじろべー)

◆ 落ちてきた 雪がふたりの キューピット
(P・N ふっきー)

◆ キラキラと 光っているの 僕の胸

◆ 雪解ける 恋の温度は 沸騰し
(P・N 働き蜂ちえちゃん)

◆ 冬銀河 返信メール 待ち焦がれ (P・N 銀河伝説)

◆ さりげない 言葉が心の 糧となる

◆ 愛と恋 言葉にするほど 値打ちある (P・N 岩窟王)

◆ 吹雪さへ いとわぬ想い フォルテッシモ
(P・N すふいんくす)

◆ 気づいたら ごはんの量が 減っていた
(P・N らぽぽん)

◆ 冬銀河 君への想い 冴にさえ

◆ 君めがけ 雪合戦の 恋の玉 (P・N たかさま)

◆ 私の恋 見たら最後 欲しくなる (P・N ちゃそ)

◆ 歳だとして 忘れちゃいけない 愛や恋
(P・N 大和の雨蛙)

◆ 出会えたから タイムマシン いららないな
(P・N 福間伊与)

◆ ロマンスを 掴む手袋 まだ編めぬ (P・N 姫ちゃん)

◆ 痴話喧嘩 こたつの足から 仲直り (P・N のん)

◆ 踏みもせぬ 因幡の国に あこがれて

◆ 雪道を 二人で転ぶ 塾帰り (P・N ハナとミル)

◆ 「貸してやるよ」 背中に君の ぬくもりが

◆ 繋いだ手 ポケットに入れ そっぽ向く (P・N 音絵)

◆ 初恋が 未だ最高 思い出だ

◆ 過ぎ去りし 悲恋を未だ 思い出す (P・N 根本中堂)

◆ 思い寄せ 異国へ向かう テールライト
(P・N てぬきおやじ)

◆ ライバルと 君を競って 踏む薄氷 (P・N 山茶花)

◆ 雪合戦 私の好きを 投げてやる (P・N ゆう)

◆ 風花に 恋の予感を 重ね着る (P・N ぽっち)

◆ 冷たい手 つなぎ合わせば 火がともる (P・N 厨坊主)

◆ この気持ち 雪をも溶かす 熱さかな (P・N ねまき猫)

◆ まだ待とう 携帯圏外 心に電波 (P・N べっちゃん)

◆ 受験より 告白に力 入れています (P・N おーかゆかり)

◆ 熱き恋 早い雪どけ 春を待つ

◆ 山茶花に ふたりの恋の 想い馳せ (P・N れんこ)

◆ あなたに灯を つけられた日の 胸騒ぎ

◆ 失恋の 階段落ちは 慣れた芸 (P・N ぶちの白馬)

◆ 雪だるま ぽっこり身体に 恋をして

◆ 還暦を 過ぎてても忘れぬ 過去の恋 (P・N 雀の涙)

◆ 夜なべして 手編みのマフラー 5メートル
(P・N クン太のママ)

◆告白は 雪で気持ち 冷める前 (P・Nりい)

◆かまくらで 遊んだ二人 いま夫婦 (P・N老虫)

◆惚れ直す 美人の湯から 出た家内 (P・N奴だこ)

◆置き忘れ 彼女のマフラー 頬にあて (P・N角奈緒也)

◆告白は 雪で造った ハート型 (P・N畑耕作)

◆恋う人を 軒端に偲ぶ 雪灯り

◆凍てる夜 温もり伝え 受話器置く (P・Nやまちゃん)

◆積もる雪 恋する二人 溶かし行く

◆雪の声 恋する二人 耳に無し (P・Nおじゃすか)

◆カイロより ぬくもり感じる 妻の笑み

(P・Nこらてく)

◆ドキドキだ つないだその手 温かい

◆うれしさを 心に刻む 君の瞳 (P・Nもにかとなら)

◆片恋も 包んで渡す チョコレート

◆吹雪く日の 恋抑えても 熱く燃え (P・Nほろ酔い)

◆きみが好き 秘めたる想い カギをかけ

◆恋文も 下駄箱入れず スマホかな (P・N悠々愛々)

◆なりそめは リフトで袖すり 種火点く

(P・Nボケ爺さん)

◆シュプールを 描いたあとを 来てごらん

◆まっさらな 想い告白 雪晴れて (P・N氷川の杜)

◆思い寄せ 恋のわた雪 リフレイン (P・Nみその)

◆淡い恋 雪の白さに 迷い込む (P・Nよつは)

◆幸せを 二人で願う 初詣

◆外は雪 二人の部屋は 春のよう (P・Nよし得)

◆ステーキと 妻のやきもちレアがいい

◆軒とは 妻に捧げる ラブソング (P・Nしめじ飯)

◆どんど焼き 「すき」の二文字が 宙に舞う

(P・N夢追い人)

◆スキーより 君がスキだと 言ってくれ

◆振り振られ ニキビも今では 吹き出物

(P・Nべーちゃん)

◆君想い 募る想いは 雪のよう (P・Nりょうパパ)

◆寒い冬 越す勇気くれた あなたの恋 (P・N春樹)

◆恋咲かす 蕾寒さに 耐えている

◆愛してる だから地球は 汚さない

(P・N京のみっちゃん)

◆自然とは あしらい上手 恋の花

◆一目惚れ 恋の始まり 紙芝居 (P・Nひねた猫)

◆雪景色 恋文写メを 百万画素 (P・N花鳥風月)

◆歯車を 合わせて長い 夫婦坂 (P・Nみずばしろう)

◆恋人に 戻って腕組む フルムーン

(P・Nきんもくせい)

◆寄り添って 恋をしている 雪だるま

◆早くこい お正月こい こいし孫 (P・Nみゃんくん)

◆40度 5臓で味わう ロシア産 (大阪府)

◆アルコール このドキドキは 恋なのか

◆諭吉さん 浮気しないで こっちこい (P・Nもち)

◆ 堕ちていく こたつの魔力 逃げられない(京都府)

◆ 遂げた想い 熱しづらくて 冷めにくい(京都府)

◆ 猫見つけ 飛びつく背中の 温かさ(P・Nゆうなぎ)

◆ こたつの中 猫ものぼせる 睦まじさ

◆ 「愛情の 熱はうつると」と 溶けだるま
(P・Nサトーユキ)

◆ 君憂う 白い吐息は 風に融け

◆ 白雪に かじる林檎に 毒はなく(P・N眠り狐)

◆ 学校は 嫌いでも行く 君へ会いに(大阪府)

◆ クリスマス 手袋ごしに 君感じ(P・Nカツ井)

◆ ラブレター くもりガラスの キャンバスに
(P・N臯月)

◆ 三つ星の 美文字書く君 美人だな(P・N銅幸)

◆ 恋身の しあげに出雲で 神だのみ

◆ 初めての 花を咲かせた 人はどこ(P・Nさがみ)

◆ 北風で 言葉を隠し 照れ隠し

◆ 星見上げ 思い出だけが よみがえる
(P・Nおおいぬ座を見上げて)

◆ マフラーを あんでウネウネ 恋迷宮

◆ 積もるほど くずれそうだよ 雪と恋(P・N錆馬)

◆ 風邪引いた 君の看病 上がる熱(P・N火亜)

◆ 雲が晴れ 二人で見上げた オリオン座(大阪府)

◆ 寒風に 君の香添えて 初デート(P・N青メダカ)

◆ その笑顔に さらに笑顔で 倍返し

◆ 冬の空 合わさっている 2人の息(P・Nあさい)

◆ 雪が舞う 月が輝く 花は君

◆ 銀世界 ここにぼくらの 未来描く(P・N宮本紅霞)

◆ 愛しさを こたつでわけける 日曜日

◆ クリスマス きらきら光る パートナー(大阪府)

◆ 何気なく そっと手渡す チョコレート

◆ 舞う雪に 見失しないよう そばにいて(P・N常平)

◆ 北風に マフラー踊る 2人連れ(P・N長男ヒロタン)

◆ ツーショット 君と写した 冬の恋
(P・N小桜ナチュちゃん)

◆ つなぐ手に 手袋不用の 恋はじめ

◆ 遠距離の 恋はメールで 温もらず(大阪府)

◆ 報知器を 鳴らしてみたい 冬の恋

◆ 冬化粧 重なる白無垢 角隠し(P・N銀にいちちゃん)

◆ 恋一瞬 愛は永遠 君想う(P・N溜稀亜)

◆ 片手ずつ 手袋脱いで 手を繋ぎ(P・Nかたおもい)

◆ 好きすぎて 彼に見えるよ ご飯粒(P・Nあねご)

◆ 北風も 君を想えば 耐えられる

◆ カップルと 暖炉の火には 当てられる(P・Nすみれ)

◆ 熱いはず 彼のその胸 貼るカイロ(P・Nあべっち)

◆ 寒い冬 愛の眼差し 変わらない(P・Nとんちゃん)

◆ とけないで 雪も魔法も この糸も(P・Nさいだすか)

◆ 伝えたい 想いを胸に 冬銀河

◆ 君といる いちごみるくの ような恋 (P・N さっこ)

◆ シルバーも 恋におちたら ゴールドに

◆ 恋談義 しても最後は 一目ぼれ (P・N 尼の政爺)

◆ きれいだね 周りに彼に 褒められて
(P・N マイケ―最高)

◆ 消えないで 私の恋と オリオン座

◆ 混み合って 一つになれた 初詣で (P・N ひろP)

◆ 「相對」を うっかり読んで 「逢いたい」と

◆ 昼間でも 月がとっても 綺麗です (P・N 白梅)

◆ ため息で 曇るガラスに 書く名前

◆ 恋うさぎ 心を癒す 君と月 (P・N ねこやま)

◆ ポケットに 入れてほしくて 素手でいる

◆ 「寒いね」は 「くっつきたいね」と 同義語で
(P・N pp)

◆ オリオンに 誓った恋も 日もおぼろ

(P・N ういすたりあ)

◆ 冬を閉じ 私あなたに 巡り逢う

◆ 片想い 冬の扉は 開かぬまま (P・N あーさま)

◆ メールにも 速達ないかと 聞く乙女

(P・N サンデー・タイクツ)

◆ 当てのない マフラー編んで ポチに巻く

(P・N さなぎ)

◆ 寒い冬 背に添えられる それだけで (P・N ももち)

◆ 先に来て 温めた席 譲る彼 (P・N 船岡五郎)

◆ 何度でも 染まりたい春 あなた色

◆ 流れ星 二人の恋を 持ちかえり (P・N 都わすれ)

◆ 結婚し チョコが一つに もて男

◆ 嫁に似て 冷たく重い 雪だるま (P・N 次男坊)

◆ うん十年 妻はやさしく 咲き続け

◆ 春隣 ふたり並んで 散歩道 (P・N 小田慶喜)

◆ まだ先は 長いよふたり 歩く道

◆ 引っ張って 押して大きな 愛育て (P・N 小田和子)

◆ あなたとの 淡き思い出 なみだがわ

◆ 胸のうち うちあけられず 桜いろ (P・N きりこ)

◆ 冬の恋 カイロなんかは 要りません

◆ 恋をして 人の心が よく分かり (P・N クジラ)

◆ この心 君に溶けたい 雪のよに (P・N あいもん)

◆ 食べたいな 愛する人の 握り雪

(P・N クンタ・キンテ・ジャパン)

◆ 虹の橋 胸弾ませて 渡りゆく

◆ 残雪に 紅差し揺れる ヤブ椿 (瀬戸内市)

◆ この寒波 デートお休み プラン練る

◆ かまくらが 熱い2人で 溶けてゆく (P・N 昭和写楽)

◆ 柚子風呂に 素敵なお夢を 見る予感

◆ 勾玉で 万葉美人に 変身し (鳥取市)

◆ めい子さん ごちそうさんで おやすみね

(P・N もくず)

◆ 初めての くちづけ雪が しんしんと

◆ 冷えるから 今夜も鍋の 夫婦仲 (P・N 上原 稔)

◆ 雪だるま 二人並んで 田舎路 (P・N三つ柏)

◆ 雪搔きの 夫の姿 惚れ直し (P・Nルオカ)

◆ 寒くても 手袋いらず 中2の恋 (P・Nはなはな)

◆ 絵手紙が あなたのことを 思い出す (P・N澤神人)

◆ 本当の ことが言えそう 雪明かり (P・Nかぐや姫)

◆ クリスマス やっぱり恋人 欲しいよね
(P・Nラッシュアワー)

◆ 舞う雪に 君に寄り添う 理由(わけ)もらい
(P・Nさいさん)

◆ スマホでは 遠くに感じる 恋まじか (P・Nエリー)

◆ 手を繋ぐ 好きが溢れて 胸痛む
◆ 横顔を ドライブ中 眺めてる (P・Nはたのり)

◆ 冷え性の 足からませる 冬の夜 (P・N人間ユタンポ)

◆ もう二度と 会えない父に 思慕つるる
(P・Nねこママ)

◆ ぴったりと 寄り添う二人を 傘が抱く
(P・N花キャベツ)

◆ 短縮の 1押す指が 弾んでる

◆ 空っ風 落とした恋に 知らんふり

◆ 肩寄せる 口実くれる 冬が好き (P・N完熟きのこ)

◆ 新雪に 指であなたの 名を残す
(P・Nいしざわ コード)

◆ 会いたくて 手に息かけ 待っている
(P・Nピンクのさかな)

◆ 会いたいな そんな想いで 今朝も待つ
(P・Nヨッシーママ)

◆ 赤い糸 レーザービームで 届いたよ (P・Nゆっぴー)

◆ 傘をさす ふたりを照らし 雪が舞う

◆ 垂(しず)り雪 彼と私の キューピッド

◆ 雪が舞う 案じる戸口 にゃんとなく (P・Nつぐみ)

◆ 一目惚れ 胸算用は 雪へ埋め (P・N紫よん)

◆ プロポーズ 雪がまさかの サプライズ

◆ 雪しまき 夫婦の阿吽 試さるる

◆ 初デート 雪が二人を 囃し立て (P・N薬寺村池丸)

◆ 片思い 機能下着に なりうらら (P・Nとりびあの)

◆ 緊張で 味付け狂う ふたり飯 (P・Nかのん)

◆ 「寒いね」と 肩抱く言い訳 するアナタ

◆ 鍋を食う せわしき口元 かわいくて

◆ 雪うさぎ あなたの町へ 跳んでゆけ (P・Nあいらむ)

◆ 携帯を 握り締めて いつか雪 (P・Nよこべー)

◆ 恋女房 いつも心の 裏を読み

◆ フルムーン 行先決めずに 乗車する (P・Nいっば)

◆ 逢いたいと 走り書きする 電話口 (P・Nのんのん)

◆ 恋と愛 違いが分かる 歳になり (P・N策々)

◆ つないだ手 寒空なのに 胸熱く (P・Nたえ姫)

◆ 義理チョコが 知らずに溶けて 愛となり
(P・Nちゅう太)

◆ 外は雪 温めるペアの マグカップ(P・N花咲き夢子)

◆ ひなたぼこ ひぎのあなたの 耳そうじ(P・N歌仙草)

◆ 紅をひく あなたに会える 五分前

◆ 今冬の 寒さはきみが いないから(P・Nぴちれい)

◆ ニコニコで 恋をしたいな かわはらで
(P・Nなほばば)

◆ 冬帽子 アタシとカレの ペアルック

◆ ゲレンデの あちこち恋の 花が咲く(P・N素人)

◆ ポケットで 悴む手と手 繋がれる(P・Nミント)

◆ 寒風に 負けずあなたへ ダイビング(P・N雪子)

◆ 惚れまいと 思へど惚れちゃう 他人の妻

◆ 神代でも ありしかダイヤの プレゼント(宇治市)

◆ 楽しみは マスクの奥の その笑顔
あなたはいつも ほほえんでいる(P・N橘 舞衣)

◆ 老いはらう 筋トレ話術 身だしなみ

◆ オーロラに 女心と 冬の空(P・Nはんしんいち)

◆ 告白を マイクで穿つ 焼きいも屋

◆ 初恋は ふわりと降って 消えてゆく(P・N田中つん)

◆ 花占い 始める言葉 逆算し(P・Nヒメ父)

◆ 八上姫 同時にゲット 愛と金(P・Nナフタリン)

◆ にこにここと 笑う母が 愛おしい(P・Nくまる)

◆ 殿の熱 冷めて恋猫 蹴る八上(ひめ)

◆ 頭髮と チョコの数が 比例した(上郡町)
(P・N翔のんまな)

◆ 好きな子に 雪をやさしく 当てにいき

◆ 里帰り 炬燵の中で 足が触れ(P・N矢車草)

◆ 初詣出 売沼で縁を 祈祷する

◆ お互いに 頑張り合える 恋がある(三朝町)

◆ 飼い猫と のら猫の恋 冬日(ふゆび) 射す

◆ 今の僕 愛はないけど 哀がある(P・Nこうちゃん)

◆ 年老いて 恋する気持 すでになし

◆ 夫婦でも 段々に愛 うすれ行く(鳥取市)

◆ 彼に似た りりしい眉の 雪だるま(P・Nあかね雲)

◆ 振り向いて 欲しい 可愛こぶっておく

◆ 好きな人 できたと 知っている鏡(P・N西村みなみ)

◆ 玄関で 彼を待ってる 雪だるま

◆ わぁ雪だ 再会の次に うれしいな(P・Nかぎはな)

◆ 恋よ来い 五十路になりて 呼んでみる
(P・Nお肌のうねり角)

◆ たっぷりと 愛を注いだ マグカップ

◆ ゴメンネと 駆け寄る彼の 白い息(P・N颯爽)

◆ 手をつなぐ 理由が欲しくて 人込みへ

◆ 北風に 教えてもらった 手の温み(P・Nばちお王子)

◆ 西日さす うつる影にも ほの字かな
(P・N夕焼け番長)

◆途中から 恋人繋ぎ 冬銀河 (P・N真昼)

◆雪の日も 心あたたか 君の横 (P・Nこぱんだ)

井窯・因久山焼・浦富焼のいずれか)をお贈りします。また、今回も優秀な作品が多く、惜しくも特別賞に届かなかった次の三名の方の作品も、プチ特別賞としまして、キリンのヒトカミストラップをお届けします。

◆辞書ひいて 精一杯の 恋綴り (P・Nお酔)

◆クラス会 あの子出るなら 俺も出る (P・N遊人)

◆教室の くもりガラスに 想い告げ (P・N暮色の天使)

【特別賞】

◆コラーゲン 負けたつるつる 恋効果

(P・Nひらめき子)

《一言》本人には分かり難い恋愛の美容効果ですが…。

◆止めようと 思って止まる ものじゃない

(P・Nねまき猫)

《一言》スキーですか？恋愛ですか？スリリング☆

◆一人旅 なのに夫婦に 間違われ (P・N吉備彦)

《一言》旅で期待するのはそんな出会いですよねえ♥

◆君の待つ 雪の駅舎が あったかい (P・N岬誠一)

《一言》ほっこりと心の温もる冬の駅の情景に感動です。

◆婚約し 彼の名字で 記帳する (P・Nとぼん)

《一言》待ちきれないほどの幸福感に満たされた作品。

◆「さん」付けず 呼び捨てるにも 口ごもる (大阪府)

《一言》この初々しい感じがたまらないですね！！

◆意味もなく 寝落ち勝負の 長電話

(P・Nどこかのだれか)

《一言》電話口の向うで聞こえる寝息も愛しいもので。

◆スナックの ママの賀状を そっと抜き

(P・N T, T おじさん)

《一言》こんな可愛いお父さんなら許してあげましょう。

◆プロポーズ イブにしようか 元旦か

(P・Nナッツとピュア)

《一言》これは悩みますよね。みんなの声を聞きたい！

◆一目みたい 声が聞きたい 抱きしめたい

(P・Nピンクのさかな)

《一言》THE恋愛って感じがたまりません♥最高♥♥

※以上十名様には、秀句として地元の窯元の箸置き(中

なお、紙面のスペース上、多数にわたるご応募の方につきましては、掲載を二句までとさせていただきます。悪しからずご了承ください。また、作品にペンネーム(P・N)の付していないものについては、宛先のみご紹介させていただきます。また、抽選の結果発表については、発送をもって代えさせていただきます。次回の【春】「ご縁を感じる川柳」編は三月に募集しますので、お見逃しなく☆

 by. KISAKI HIMEKO
 (郷土神話観光
 コーディネーター
 ☆)

年をまたいで制作となりましたが、ようやく…ようやく今年のひとつめの大きな企画の「マスコットキャラクター」が無事に完成を迎えました(^^)v マスコットキャラクターは、この「恋する川柳」でもはや馴染みとなっている、河原町の縁結びの神社に祭られている八上姫がモチーフとなっています。今回は、マスコットキャラクターの制作を通して、今まで以上に『ものづくり』の大変さを思い知らされたように思います。このかわら版も、たくさんの人たちの「想い」が寄せられてやっとうとう形になっているのだ…と思うと、一句一句の重みを改めて感じずにはいられませんでした。みなさま本当にありがとうございました。

俺が好き？ その何倍も
君が好き



saori

メールでは 書いても言えぬ
あ・い・し・て・る



saori

初詣 願う君との
明日のじゅ



賽銭

saori